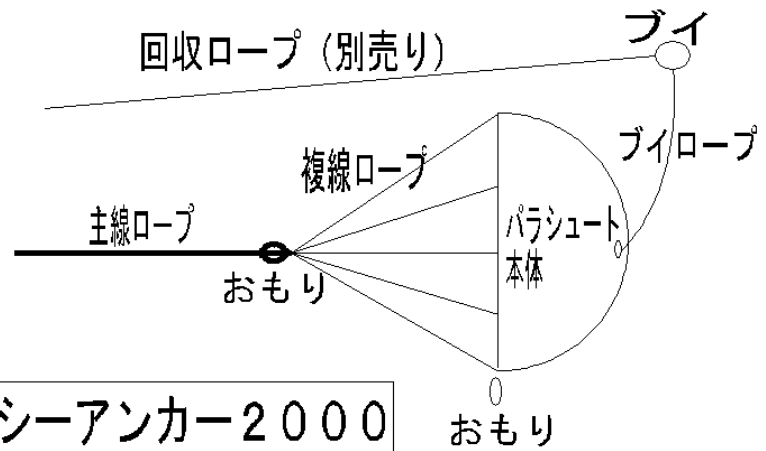


## シーアンカー 2000 取り扱い方法

1、シーアンカー 2000 は次の部品から構成されています。

パラシュート本体 複線 6  
本 主線 1 本 おもり 3 個  
ブイ 1 個とロープ



### 2、投入の方法

まずブイを遠くに放り投げます。この時投げるブイを風上側にそしてボート本体は風下側に位置します。

本体の頂点（ブイ側）を向こうにおもりの付いた側を手前に海中に投下します。

そのままゆっくりと本体が風上側に流されていきます。（本当は自身のボートが風下側に流されています）

その間に主線の先をボートに固定します。ワッカを作りどこかにひっかけるのも良いでしょう。ブイに細い回収ロープ（別売り）をつけると回収が楽になります。つける方はそれもボートに固定して下さい。

ボートに引っかける場所はパウ側が理想ですが、キールの出っ張りの少ないインフレーターボートはどこにかけてもあまり影響がありません。

風がゆっくりの場合早くパラシュートが開きませんが、この時エンジンでバックに入れ後進して強制的に開かすことも可能ですが、ロープ類がペラに絡まるとトラブルになりますので、お勧めしません。

### 3、回収の方法

主線ロープをたぐりパラシュートをゆっくりと引き寄せます（実際はボートがパラシュートに近づいている）。回収ロープをつけた場合はブイの先に付いている回収ロープを引き寄せて下さい。

近くまで引き寄せたなら複線ロープの上側 2 ~ 3 本つかんで、水中から引き上げますと、パラシュート本体が容易に引き上げられます。回収ロープをつけた場合はそのまま本体の頂点部分から引き上げて下さい。

あとはそのままブイとロープを回収して下さい。

### 取り扱い注意点：

本体使用後は真水にて洗浄し、日陰で乾燥させて下さい。

濡れたまま収納袋に入れますと、かびたり異臭の原因となりますので注意して下さい。本体はガソリン等の化学物質や熱には非常に弱いですので、そのような環境には置かないで下さい。

複線がもつれた場合はパラシュート本体外周の輪よりはずしてもつれを解消し再び、もやい結びで結ぶとうまくいくと思います。そのため縫い込まずわざと結んで固定しております。

ウラン工房